



東海財務局による 碧南市の財務状況診断結果は 大変良好とのこと

今年3月に財務省東海財務局より、市の財務状況を診断した結果についての報告を受けました。報告書の一部を次の通り抜粋します。

市の内外で広く多様な雇用が創出されており、高齢者の就業率も高いなど、当市の完全失業率（平成22年度国勢調査によると3・62％で全国813団体の低い方から6番目）は全国的にも極めて低い水準である。

また、支出面では、人口1人当たりの介護保険事業や、国民健康保険特別会計への繰出金などの類似団体に比べて低くなっており、類似団体に比べて低い高齢化率や高齢者の高い就業率などが影響していると考えられる。（国民健康保険特別会計人

口1人当たりの繰出金、碧南市2千940円、類似団体7千960円で、40類似団体の低い方から1位、介護保険特別会計人口1人当たりの繰出金、碧南市7千700円、類似団体1万1千300円で、40類似団体の低い方から5位、いずれも平成26年度ランキング）

リーマン・ショックの発生に伴う法人住民税収の低下や、同税還付金の発生などにより、財政状況が悪化したものの、近年では「財政再スタート宣言」を発令し、行財政改革に取り組んだことで成果をあげている。結論としては、現状においては、

市の財務状況は大変良好であるとの評価をいただきました。また、口頭ではありましたが、「碧南市職員の資質もリーマン・ショックなどの困難を克服するなかで類似団体と比較しても大変高いものとなっている」とのお褒めの言葉がありました。

市は現在「健康寿命日本一」を目指して各施策を総合的・積極的に展開しています。この4月よりあおいパーク内に市内2か所目の「貯筋ルーム」をオープンし、レールパークの整備も着実に進んでいます。これらの施策の成果が、市民1人当たりの医療介護費を低く抑えていると信じています。

今後とも、市民の皆さんの協力を得るなかで、職員一丸となって、日々CS（市民満足度）とCP（コストパフォーマンス）の最大化を追求し続けてまいります。

青少年育成推進員の皆さん

未来を担う心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、公民館を拠点に地域に根ざした活動を進めています。

問合せ 文化会館内生涯学習課

☎(42)3511

地区	氏名（敬称略）
新川	馬場安司（山神町） 近藤幸恵（田尻町） 伊藤正博（住吉町） 仲地三保子（松江町） 生田昌史（向陽町） 石川まさ恵（向陽町） 坂田零（道場山町） 奥谷純子（天王町）
中央	磯貝孝行（権田町） 磯貝和代（若松町） 板倉勝敏（伊勢町） 岩崎利栄（西浜町）
大浜	

地区	氏名（敬称略）
棚尾	榊原勝彦（雨池町） 杉浦友美（雨池町） 岩瀬弘朋（汐田町） 杉浦まい子（春日町） 鈴木照久（平七町） 森智子（天神町） 實原仁（霞浦町） 杉浦範子（日進町） 池田昇司（荒子町） 生田美和子（二本木町） 加藤省吾（城山町） 岡部京子（神有町） 加藤博章（立山町） 鈴木和美（坂口町） 門口秀伸（長田町） 伊藤真理（湖西町）
日進	
鷺塚	
西端	